

報道関係者 各位

平成 31 年 3 月 18 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 大坪 真実(内線 2578)

国家試験係長 石原 寛人(内線 2574)

(代表電話) 03(5253)1111

### 第 112 回歯科医師国家試験の合格発表について

平成 31 年 2 月 2 日(土)及び 3 日(日)に東京都他 7 カ所において実施した第 112 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

#### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,452 人	2,000 人	1,587 人	79.4%
全体	3,723 人	3,232 人	2,059 人	63.7%



## 第112回歯科医師国家試験の合格基準

第112回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 58点以上／98点
- ② 領域B（各論Ⅰ～Ⅱ） 116点以上／171点
- ③ 領域C（各論Ⅲ～Ⅴ） 126点以上／205点
- ④ 必修問題 64点以上／79点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、  
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

とする。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 11 問

11 グラム陰性菌に特有の構造はどれか。1つ選べ。

- a 外 膜
- b 芽 胞
- c 莢 膜
- d リポタイコ酸
- e ペプチドグリカン

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 32 問

32 口腔細胞診のガイドライン(2015)による分類はどれか。1つ選べ。

- a Bethesda 分類
- b Borrmann 分類
- c NYHA 分類
- d Paris 分類
- e Vienna 分類

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。
-------------

( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 55 問

55 医薬部外品の薬用歯みがき類の成分と効能又は効果の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ソルビトール ————— 口臭の防止
- b 水酸化アルミニウム ————— 歯がしみるのを防ぐ
- c 塩化セチルピリジニウム ————— 歯内炎の予防
- d カルボキシメチルセルロース ————— タバコのやに除去
- e モノフルオロリン酸ナトリウム ————— 歯石の沈着を防ぐ

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

選択肢に誤りがあり正解が得られないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 61 問

61 頻拍発作を起こしやすい病態はどれか。1つ選べ。

- a 心房細動
- b 洞性不整脈
- c 洞房ブロック
- d 房室ブロック
- e QT 延長症候群

( 採点上の取り扱い )

複数の選択肢を正解として採点する。
-------------------

( 理 由 )

複数の正解があるため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 1 問

1 手指の消毒に使用できる逆性石けんはどれか。1つ選べ。

- a クレゾール
- b グルタラール
- c ホルムアルデヒド
- d 次亜塩素酸ナトリウム
- e ベンザルコニウム塩化物

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。



第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 18 問

18 多数の患者に緊急治療が同時に必要な場合、治療の優先順位を医学的基準に基づいて公平に選択すべきであると謳ったのはどれか。1つ選べ。

- a シドニー宣言
- b リスボン宣言
- c ジュネーブ宣言
- d ヘルシンキ宣言
- e アルマ・アタ宣言

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。
-------------

( 理 由 )

設問が不明確で正解が得られないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 54 問

54 64歳の女性。上下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。製作過程で行ったある操作後の写真(別冊No. 10)を別に示す。

この操作で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 連合印象法を用いる。
- b 現有義歯を用いることがある。
- c 流動性の高い印象材を用いる。
- d 安静時の顎堤粘膜の状態を採得する。
- e 印象材が硬化するまで術者が義歯を保持する。

( 採点上の取り扱い )

複数の選択肢を正解として採点する。
-------------------

( 理 由 )

複数の正解があるため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 81 問

81 72歳の女性。全身麻酔下に歯肉癌の切除術を行うこととした。麻酔導入後、モニタ画面で心電図変化を認めたため、12誘導心電図を記録した。呼吸と循環動態に異常はなかった。術前と麻酔導入後の12誘導心電図(別冊No. 29)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b アドレナリンの投与
- c ドパミン塩酸塩の投与
- d ニトログリセリンの投与
- e アトロピン硫酸塩水和物の投与

( 採点上の取り扱い )

複数の選択肢を正解として採点する。

( 理 由 )

設問が不明確で複数の選択肢が正解と考えられるため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 2 問

2 母子健康手帳の省令様式において、保護者の記録【1歳の頃】に記載されているのはどれか。1つ選べ。

- a 哺乳<sup>ほ</sup>ビンを使っていますか。
- b いつも指しゃぶりをしていますか。
- c 歯みがきの練習をはじめていますか。
- d 食事や間食(おやつ)の時間はだいたい決まっていますか。
- e 歯にフッ化物(フッ素)の塗布やフッ素入り歯磨きの使用をしていますか。

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 3 問

3 第二乳臼歯の低位の原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a 後継永久歯の欠如
- b 対合歯の早期喪失
- c 第一小臼歯の近心傾斜
- d 第一大臼歯の異所萌出
- e 第二大臼歯の頬側転位

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 10 問

10 外頭蓋底の前方部の写真(別冊No. 1)を別に示す。

上顎全部床義歯の後縁の位置はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 25 問

25 学校保健安全法に基づいて学校で行うのはどれか。すべて選べ。

- a 学校病の治療
- b 養護教諭の配置
- c 学校安全計画の策定
- d 学校の職員の健康診断
- e 児童生徒等の健康相談

( 採点上の取り扱い )

2通りの解答を正解として採点する。
-------------------

( 理 由 )

設問が不明確で、2通りの解答が考えられるため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 7 問

7 歯・口腔の健康診断結果に基づく調査はどれか。1つ選べ。

- a 受療行動調査
- b 医療経済実態調査
- c 学校保健統計調査
- d 国民生活基礎調査
- e 国民健康・栄養調査

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。



( 別 紙 )

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 11 問

11 上顎右側中切歯の口腔内写真(別冊No. 1A)、エックス線画像(別冊No. 1B)及び  
歯科用コーンビームCT(別冊No. 1C)を別に示す。

この異常が発生する時期はどれか。1つ選べ。

- a 胎生2週～胎生4週
- b 胎生6週～胎生3か月
- c 胎生5か月～生後2か月
- d 生後4か月～生後6か月
- e 生後6か月～生後1年

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 19 問

19 Le Fort I、II 及び III 型に共通する骨折部位はどれか。1つ選べ。

- a 筋突起
- b 関節突起
- c 翼状突起
- d 上顎骨前頭突起
- e 側頭骨頬骨突起

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 26 問

26 初期感染における病原性細菌に対する防御応答で最初に起こるのはどれか。1つ  
選べ。

- a 好中球の遊走
- b 補体の活性化
- c 形質細胞による抗体産生
- d マクロファージによる貪食
- e T細胞によるサイトカインの産生

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。
-------------

( 理 由 )

設問が不明確で正解が得られないため。

第112回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 85 問

85 76歳の男性。部分床義歯支台歯のクラウン脱離を主訴として来院した。2か月前、下顎左側第一小臼歯と第二小臼歯のクラウンが脱離したという。検査の結果、 $\overline{45}$ のクラウンと上下顎義歯を再製作することとした。完成したクラウンを試適して適合を確認後、試適したまま予備印象を行った。クラウン試適時の口腔内写真(別冊No. 32)を別に示す。

次回来院時に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合採得
- b クラウンの合着
- c ピックアップ印象
- d オルタードキャスト法
- e フレームワークの試適

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第103回	平成22年2月6～7日	3,465 ( 2,355 )	2,408 ( 1,921 )	69.5 ( 81.6 )
第104回	平成23年2月5～6日	3,378 ( 2,356 )	2,400 ( 1,928 )	71.0 ( 81.8 )
第105回	平成24年2月4～5日	3,326 ( 2,311 )	2,364 ( 1,882 )	71.1 ( 81.4 )
第106回	平成25年2月2～3日	3,321 ( 2,373 )	2,366 ( 1,907 )	71.2 ( 80.4 )
第107回	平成26年2月1～2日	3,200 ( 2,241 )	2,025 ( 1,642 )	63.3 ( 73.3 )
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 ( 1,995 )	2,003 ( 1,457 )	63.8 ( 73.0 )
第109回	平成28年1月30～31日	3,103 ( 1,969 )	1,973 ( 1,436 )	63.6 ( 72.9 )
第110回	平成29年2月4～5日	3,049 ( 1,855 )	1,983 ( 1,426 )	65.0 ( 76.9 )
第111回	平成30年2月3～4日	3,159 ( 1,932 )	2,039 ( 1,505 )	64.5 ( 77.9 )
第112回	平成31年2月2～3日	3,232 ( 2,000 )	2,059 ( 1,587 )	63.7 ( 79.4 )

※( )内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	受験者数(人) 男女比(%)	合格者数(人) 男女比(%)	総数	男女別合格者数		男女別合格率(%)	
				男性	女性	男性	女性
第108回 (平成27年)	受験者数(人)	3,138	1,955 (62.3)	1,183 (37.7)	58.9	72.0	
	合格者数(人)	2,003	1,151 (57.5)	852 (42.5)			
第109回 (平成28年)	受験者数(人)	3,103	1,984 (63.9)	1,119 (36.1)	59.6	70.6	
	合格者数(人)	1,973	1,183 (60.0)	790 (40.0)			
第110回 (平成29年)	受験者数(人)	3,049	1,952 (64.0)	1,097 (36.0)	61.7	71.0	
	合格者数(人)	1,983	1,204 (60.7)	779 (39.3)			
第111回 (平成30年)	受験者数(人)	3,159	1,924 (60.9)	1,235 (39.1)	60.4	71.0	
	合格者数(人)	2,039	1,162 (57.0)	877 (43.0)			
第112回 (平成31年)	受験者数(人)	3,232	1,971 (61.0)	1,261 (39.0)	60.0	69.5	
	合格者数(人)	2,059	1,183 (57.5)	876 (42.5)			

第112回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)	合格者数(人)	合格率(%)
新卒 平成30年4月～平成31年3月	1回	2,000	61.9	1,587	79.4
既卒 平成29年4月～平成22年3月以前	2回	573	17.7	310	54.1
	3回	279	8.6	104	37.3
	4回	136	4.2	33	24.3
	5回	54	1.7	13	24.1
	6回	39	1.2	3	7.7
	7回	18	0.6	4	22.2
	8回	15	0.5	2	13.3
	9回	18	0.6	0	0.0
	10回以上	100	3.1	3	3.0
	計		1,232	38.1	472
総計		3,232	100.0	2,059	63.7